

海っ子バスで南知多を遊んじゃおう!



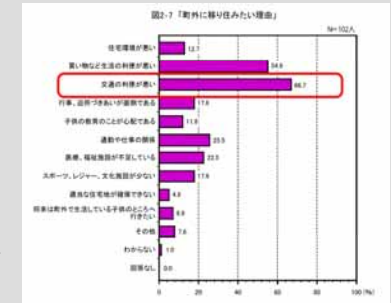
『まったり・発見 南知多』 ～ 海っ子バス お宝発見ツアー ～

内海・山海まちづくり協議会「きずなの会」
南知多町



事業の背景

- ◆ 『町外に移り住みたい理由』の第1位が「交通の利便性が悪い」
(平成21年3月南知多町住民意識調査)
- ◆ 海っ子バス
平成22年10月1日に廃止された知多乗合バスの西海岸線および豊浜線を引き継ぐ形で、廃止日より新たに町営のコミュニティバスとして運行を開始。
- ◆ 主な運行ルート
河和駅を起点として内海・山海地区を經由して豊浜さかな広場へのルート 西海岸線
河和駅を起点として豊浜地区を經由して師崎港へのルート 豊浜線
- ◆ 利用状況
西海岸線は、特に利用率が低いのが現状である。
- ◆ 活動動機
自分たちのバスを自分たちの手で育てたい。内海・山海地区のまちづくりの柱にしたい。



事業の目的

- ◆ まずは、みんなの声を聞きたい!
【アンケートによる海っ子バスについての意見集約】
- ◆ みんなが使いやすいバスにしたい!
【バス停時刻表変更、ベンチ設置、屋根付きベンチ作成】
- ◆ みんなにバスをサポートしてもらいたい!
【イベント開催、スタンプラリー】



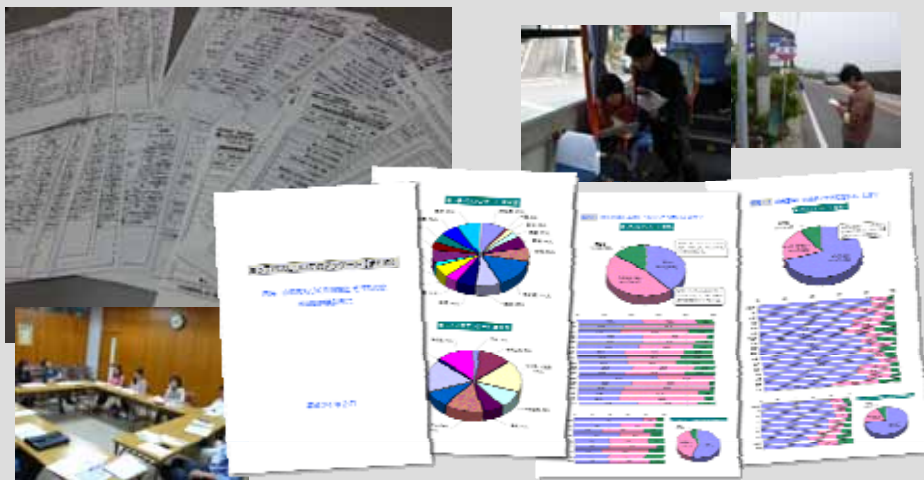
事業の概要

- ◆ アンケート調査の実施
H23年10月中旬に、内海・山海地区の住民を対象に約1,800枚配布、751人(約40%)から回収
- ◆ バス停留所のベンチ作成及び設置、表示内容変更
H23年12月17日に、メンバー手作りのベンチを4箇所、バス停留所案内表示を6箇所設置
- ◆ 保育所最寄バス停の屋根付きベンチ作成
H24年2月に、手作りの屋根付きベンチを作成、園児による作品展示スペースも設け、園児が参加してお披露目
- ◆ スタンプラリーの実施とポケット時刻表の作成
H23年11～12月に、バス停6箇所+車内の計7箇所をポイント場所としてスタンプラリーを実施(約2,500名参加)
- ◆ 利用促進イベントの開催
H23年12月4日に、あいち戦国姫隊と名古屋おもてなし武将隊を招き、海っ子バスをPRするイベントを開催(3会場で延べ800名参加)



事業の実施結果

アンケート調査の実施



アンケート結果まとめ

4

事業の実施結果

バス停留所のベンチ作成及び設置、表示内容変更



お年寄りの方には
大好評です。

路線図を使って観光
客の方にも分かりや
すくしたよ。

変更後



変更前



ベンチ設置

5

事業の実施結果

保育所最寄バス停の屋根付きベンチ作成



6

事業の実施結果

スタンプラリーの実施とポケット時刻表の作成



ポケット時刻表

7

事業の実施結果

利用促進イベントの開催(その1)



イベントポスター(A3)

町内外へのPRと
サポーターによる
のぼり旗の作成。



イベントチラシ(A4)



イベントサポーター幟旗

8

事業の実施結果

利用促進イベントの開催(その2)



9

事業の効果

- ◆ アンケート調査では、内海・山海地区全体で**751**人の方からの回答が寄せられ関心の高さを知ることができたとともに、地域の方々の問題意識高揚を図れた。
- ◆ **バス停留所**の**ベンチ作成**・設置、**表示内容変更**では、スタンプラリーで協力が得られたセブンイレブン、岩屋寺はじめ、内海高校前の計**7**箇所(**ベンチ設置4箇所**、**案内表示6箇所**)に設置することができた。
- ◆ 内海保育所の最寄りのバス停では、保育所の協力を得て、園児たちによる作品も飾ることができた。全園児**110**名が参加したお披露目式も行い、子供たちにも関心を持ってもらえた。
- ◆ イベントに先駆け、1か月間スタンプラリーを実施し、スタンプ設置場所のヒントが各バス停に設置されていたり、車内もポイント場所とするなど、海っ子バスを利用する仕組みにした。さらに、スタンプラリーの賞品引換えをイベント開催時としたことで、約**100**名の参加者がイベント会場に訪れ、**利用促進をアピール**できた。
- ◆ イベント開催にあたっては、内海、山海、豊浜地区他において、募集したサポーター会員延**75**名の協力で「のぼり旗」を海っ子バス沿線などに設置することができた。地域にとらわれない、まちづくり活動の第一歩を踏み出した。
- ◆ **イベント**では、会場の移動や姫隊・武将隊の撮影会、スタンプラリーなど、海っ子バスに乗ってもらうための企画で、当日は延べ約**800**名の参加があり、町内外に**利用促進をアピール**できた。
- ◆ イベントや活動内容は、きずなの会HPへの掲載や新聞、ケーブルテレビへ計**6**回の登場などマスメディアの活用により、一層のPRに努めることができた。海っ子バスを取り巻く関係者との信頼関係の構築が図れた。

10

今後の課題及び展開

今後の課題

- ◆ アンケートの結果から多くの方がバスの重要性を認識している。しかし、実際に乗る方は少ないという事実とのギャップを解消する。
- ◆ ベンチの設置では、バス停の場所が公共施設(道路・歩道)にあり、ベンチの設置の許可が得られず、民有地など適した設置場所が少ないことがある。

今後の展開

- ◆ 行政との協働による「バスの日」企画などの取組み
- ◆ バスの利用促進に向け、**内海・山海の観光スポット**や**お店などのコース**を作ってPR
- ◆ 子どもたちへの海っ子バスの利用を促す活動
- ◆ バス停ベンチ等のメンテナンス

11